美馬市が直面する災害リスク

美馬市は、南北を剣山や大滝山、竜王山などの山々に囲まれ、中央部に日本三大暴れ川の一つで『四国三郎』の異名を持つ吉野川が東西に流れています。山間部と平野部の標高差は、最大1,900mもあるため、場所によって地形、地質、気象などの自然的条件が異なっており、注意すべき災害リスクも変わってきます。

地震

想定最大震度6強

特に南海トラフ地震や中央構造線・活断層地震が起これば、甚大な被害のおそれ

詳しい情報は⇒P９へ

大雨（土砂災害）

土砂災害（特別）警戒区域では、がけ崩れ・土石流・地すべりのおそれ

詳しい情報は⇒P７へ

洪水

大雨により吉野川の堤防が決壊したり流水が堤防を越えたりするおそれ

詳しい情報は⇒P５へ

ため池決壊

大きな地震や大雨でため池の堤防が決壊し氾濫流が発生するおそれ

詳しい情報は⇒P８へ

暴風

台風や竜巻による激しい風により建物が損壊するおそれ

詳しい情報は⇒P６へ

大雨（浸水害）

吉野川の水位が上昇すると住宅地側の雨水が排出できなくなり浸水するおそれ

詳しい情報は⇒P５へ

ライフラインの途絶

様々な災害を要因として電気・ガス・水道などが長期間にわたり途絶するおそれ

詳しい情報は⇒P11へ

大雪

山間部での大雪は集落の孤立化や停電のおそれ

詳しい情報は⇒P６へ

美馬市の災害記録

美馬市においても、過去に土砂崩れや浸水害が発生しています。

右の写真は、昭和51年9月8日から13日にかけて発生した「台風17号による土砂災害」と、平成16年10月18日から20日かけて発生した「台風23号による浸水害」の状況です。

昭和51年台風17号の豪雨により、穴吹町古宮地区では随所において地すべりが発生し、住家・道路・耕地が破壊されました。穴吹町では、死者2名の人的被害と全壊41戸、流出37戸の住家被害が発生しました。

平成16年台風23号の豪雨は、吉野川流域各所において400～500mmの総雨量を観測し、池田ダムの最大放流量が約11,300㎥/sとなり、吉野川の水位上昇により無堤地区での外水氾濫や住宅地での内水氾濫が発生し、美馬市内では、床上浸水115戸、床下浸水157戸の住家被害となりました。

昭和51年台風17号災害（穴吹町古宮　内田線）

平成16年台風23号災害（脇町　藍ランドうだつ南側）